ときわまつ

卒業

校長　加藤　真寿美

厳しい冬の寒さから新たに草木が芽吹く春三月。弥生の月を迎え、今年度も最後のひと月となりました。いよいよ卒業の季節となります。

卒業と聞くと、六年生の卒業式を思い浮かべると思います。もちろん六年生の卒業は、特別です。小学校生活を終え、中学に向かう区切りでもあり、小学校最大の行事となります。これまでの最上級生としての行動を振り返り、三月二十五日の卒業式は、心からよい式になるよう臨んでほしいと思っています。

他の学年もまた、今の学年を卒業し、次の学年に進級します。一年生は二年生になり、初めて弟や妹が入学してきます。お兄さん・お姉さんになります。二年生は三年生になり、新しい学習が始まります。三年生は四年生になり、クラブ活動が待っています。もう高学年の仲間入りです。

そして、四年生は五年生へ。五年生は六年生へ。常磐松小学校を支える高学年になります。新六年生を中心とした高学年が、これからの常磐松小学校をよりよい学校としていく原動力となります。責任感をもちリーダーシップを発揮し、下学年の子たちの手本となってほしいです。高学年の行動は、教職員の「～しましょう」の指導の言葉より、何倍も子供たちの心を動かします。そのことを胸に刻んで、学校生活を送ってほしいと期待しています。

さあ、卒業へのカウントダウンが始まります。子供たちは、現在の学年を卒業します。今年度のまとめを行いながら、新しい学年への準備を進めていきます。乗り遅れないように、みんな揃って卒業し、新しい春を迎えられるよう支援をしてまいります。

春はそこまで、来ています。

終わりになりますが、PTA会長

田村康雄様をはじめ役員・各種委員会委員長の皆様・そして会員の皆様には、『前向きに目標を立て、笑顔あふれる日常を　ふたたびつくっていこう！』のスローガンのもと、様々な場面で学校生活を支えていただきました。コロナが５類に移行し、今まで実施不可や縮小を余儀なくされてきた行事等も実施することができ、明るく楽しく、前向きに活動をしてくださいました。「常磐松小を盛り上げたい」「子供たちを笑顔にしたい」という思いが伝わり、感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。

また、地域の皆様には、子供たちや学校の様子を気にかけていただきました。祭礼に際し、「子供たちの活気が地域に戻ってきました」という言葉に、うれしい気持ちがこみ上げてきました。地域の皆様に見守られているという感謝の思いは、子供たち・教職員共に今後もしっかり持ち続けていたいと思っています。

この一年間、本校の様々な教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

新年度に向けて

学校評価アンケートに御協力をいただき、ありがとうございました。

現在学校では、全校児童が充実した学校生活が送れるよう、新年度に向けての準備を進めているところです。新年度の計画・作成に当たっては、教職員で今年度の取組を自己評価した結果や保護者・地域の皆様に御協力いただいたアンケート結果を参考にしています。

アンケート結果につきましては、全二十項目中十一項目で肯定的評価が八割以上（内、七項目は九割以上）に到達しており、一定の教育効果は得られていると言えますが、課題が明確になる項目もありました。特に、「分からない」の割合が高かった「シブヤ未来科」「いじめ対応」については、更なる周知方法を検討いたします。次年度に向けて自分たちの取組を見つめなおし、改善につなげていきたいと考えています。

「成長する学校」を目指して、更なる学校力の向上に向けて、全教職員で力を合わせ真摯に取り組んでまいります。来年度も変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

＊アンケート結果は、ホーム＆スクールで配信しています。御確認ください。

四年　那須甲子高原移動教室

二月十四日（水）～十五日（木）

九月から延期になっていた那須甲子移動教室に行ってまいりました。一日目は、「スノーシューハイキング」をしました。まっさらな雪の上を歩いたり、動物の足跡を見つけたり、冬の木の様子を感じたりしました。ガイドの方の話を伺い、雪のシーズンならではの活動を思い切り楽しむことができました。夜は、「屋内キャンプファイヤー」をし、係が準備した遊びを協力しながら実行しました。笑顔あふれるひとときでした。二日目は、「白河だるまの絵付け体験」をしました。

四年生にとって初めての移動教室。子供たちの笑顔がたくさん見られ、思い出に残る二日間となりました。

鼓笛移杖式

二月十七日（土）

今年度の移杖式は、入場行進に始まり、一年間取り組んできた曲を順に披露した後、六年生から五年生へ指揮杖、四年生へ楽器、三年生へユニフォームが、それぞれ受け継がれました。各学年の代表の言葉には、六年生への感謝や、新たな鼓笛隊への決意などがこめられていました。一年生から三年生は、演奏や楽器を受け継ぐ様子を真剣に見つめました。

最後に、これまで鼓笛隊のリーダーとして皆を引っ張ってきた六年生を、新鼓笛隊の演奏で送りました。地域の方々やたくさんの保護者に見守られ、常磐松小伝統の鼓笛隊が確かに引き継がれました。

六年生を送る会
二月二十二日（木）

全校児童が体育館に集まり、一年生から五年生は、ダンスやクイズ、寸劇などで六年生に感謝の気持ちを伝えました。どの学年もこれまでの思い出を振り返った温かい発表で、六年生は少し照れながらも嬉しそうな表情でした。六年生からは演奏披露や卒業制作・手作りプレゼントの紹介がありました。司会進行などを行った代表委員会の児童からは、「これから六年生に代わって学校を引っ張っていこう」という決意が感じられました。

さらにこの日は、縦割り班ごとに分かれてお弁当給食を食べました。卒業まで残り一か月、皆でたくさんの思い出をつくり、よい時間を過ごしてほしいと思います。

■三月の生活目標■
一年間の学習や生活を振り返ろう
■すこやか目標■
一年間の生活を振り返ろう

今年度もいよいよあとひと月になりました。これからも子供たち一人一人の中にある温かい心や優しい思いが、態度や行動に現れるよう、子供たちの様子を多くの目で見守り、声をかけたり、よい行動を褒めたりしながら、自分の行動について振り返りをさせていきたいと思います。

《お知らせ》
四月から生活時程が変わります。

○現行のＡＢＣ、三つの時程が二つの時程になります。（今年度のＢＣ時程が基本となります。）
○中休みから五分間を昼休みに移行します。（中休み十五分間、昼休み十五分間）
○昼休み後の短時間学習がなくなります。短時間学習は朝の時間の中で行います。
○鼓笛の朝練習は昼休みの時間に移ります。
○朝の登校時間は、八時五分～一五分の間です。時間内に登校ができるよう、お声掛けをよろしくお願いします。

詳細は四月にお知らせいたします。新しい生活リズムに慣れるよう、御協力をよろしくお願いいたします。

特別支援教室「ゆずりは」
◆運動・体幹◆

運動することは体の健康を維持するために必要です。成長過程では、特に姿勢保持や書字などにも密接に関係してきます。今回は『運動と体幹』のトレーニングについて紹介します。

バランスボール

バランスボールに座り、安定のとれる体の感覚を自分で見付け、落ち着いた後に両足を離す活動があります。初めの頃は教員の手や壁を支えにしながらバランスを保っていた子供たちも、経験を重ねていくうちに、両手両足を離しても、自分でバランスがとれるようになっていきます。体幹の力を高めることで、姿勢が良くなり、書字の安定につながると感じることが多々あります。

スクーターボード

腹這いの姿勢でボードに乗り、手で床を押しながら前進します。直線や曲線、カーブなど様々なコースに挑戦したり、スクーターボードに乗ったまま輪をコーンに投げ入れたりして、主に背筋の強化をします。障害物に当たらず安全に行うためにはどの程度の力が必要か、輪を投げる時にどのように姿勢保持をするかなど、自身の体を調整する力も養うことができます。

このように、様々なアプローチを通して、子供たちの「できた！」や自信につなげていけるように支援しています。

直通電話：〇三-三四八六-五一〇八
ゆずりは教室　担任　門田　香織里